

「ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット2017」の開催について

課題

- ・ベンチャー振興において、エコシステム(好循環)の形成はもっとも重要な課題。
- ・特に医療系ベンチャーにとっては、大手製薬・医療機器企業等の事業・開発のパートナーを獲得することは死活問題。
- ・しかし、日本の現状では、医療系ベンチャーに関わる人的ネットワークが分散しているという課題がある。

対応

- ・大手企業、金融機関、研究機関、医療機関等のキーパーソンとベンチャーのマッチングに資するイベント「ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット2017」を開催する。

今年度は、10月11日(水)～13日(金)にパシフィコ横浜にて開催。

ベンチャー企業等によるプレゼンテーションや国際シンポジウムなどを予定。

「バイオジャパン2017」「再生医療ジャパン2017」と同時開催とし、3日間で1万5千人以上の来場を見込む。



【主な内容】

- ・医療系ベンチャー企業等のブースによる展示とプレゼンテーションの実施
- ・パートナーリングの支援
(マッチングシステム、ラウンジの提供)
- ・シンポジウムの開催(10月13日)

BioJapan2017について

会 期 2017年**10月11日** (水) ~**13日** (金)

会 場 パシフィコ横浜

- バイオビジネスにおけるアジア最大のパートナーングイベント
- バイオ関連企業、ベンチャー、大学 (約80大学) が結集 (約900社・機関)
- バイオ産業のオープンイノベーションを加速

前回 BioJapan 2016 / 再生医療JAPAN 2016 の特徴

- アジア最大のパートナーングイベントとして、さらに規模を拡大
- 再生医療JAPANを初開催 (97社、89小間規模)
- 国内外の大手中堅製薬が軒並み参加

旭化成、アステラス製薬、アストラゼネカ、アヅヴィ、アルフレッサファーマ、EAファーマ、MSD、大塚製薬、科研製薬、キッセイ薬品、協和発酵キリン、杏林製薬、ギリアド・サイエンシズ、グラクソ・スミスクライン、興和、サノフィ、三和化学研究所、CJ HealthCare、塩野義製薬、Shire、ジョンソン&ジョンソン、ゼリア新薬工業、第一三共、大正製薬、大日本住友、タカラバイオ、武田薬品工業、田辺三菱製薬、中外製薬、テイカ製薬、帝人ファーマ、日東薬品工業、日本イーライリリー、日本製薬、日本セルヴィエ、日本たばこ産業、ノバルティス、バイエル薬品、ファイザー、プリストル・マイヤーズスクイブ、ベーリンガーインゲルハイムジャパン、マルホ、ムンディアファーマ、Meiji Seika ファルマ、持田製薬、ユーシービージャパン、ルンドベックジャパン、ロート製薬、ロンザ、ロシュファーマ 等

パートナーリングエリア(共通で使用)




厚生
労働省

※10月13日(金)には、アネックスホールにおいて、国際シンポジウムを開催。

